

Merry in Sapporo プロジェクトタイアップ

# ラブリー スマイル

4月になり、ようやく札幌も春らしくなってきました。進級や進学、就職の時期ですが、夢を持ってバ

イトや勉強、おしゃれ、趣味など新しいことに挑戦しようとする人も多いようです。

## 春から英会話教室に

まを並べていて水谷孝次先生をかけた宇佐美梨梨さん(19)。春から北海道札幌カトリック大学の学生になる。打ち込んだのは「ベルフェイス」の古道具屋「ベルフェイス」で働き始めたばかりで、「インターン」ものの見つけ方を教わった。楽しいのだった。春から英会話教室にも通う予定で、充実した年に



宇佐美 梨梨さん

## 海外語学留学目指す

おし、それが大好きな木野智恵子さん(20)。バイト代はほとんどは洋服や古貨、アクセサリー、美容室などに使ってしまうという。でも帽子は外さない。インテリジェントの帽子屋さんが気に入った。この春、専門学校を卒業し、語学留学の仕事に就職。「英語で働きたい」という願いを叶えた。「将来はお客師めて海外に語学留学がしたい。歴史のある国がいいな」。



木野 智恵子さん

## アジア料理に挑戦

今シーズンは「フード」色だ。という田道子さん(20)。春の準備はもう済んでいる。休み明けからは「手」で勉強する。その数々の経験から、大好きな「れお」の料理に挑戦したい。今シーズンは「れお」の料理に挑戦したい。今シーズンは「れお」の料理に挑戦したい。今シーズンは「れお」の料理に挑戦したい。



田道 子さん



## ダンサーか芸能人に

この春中学生になる山内葉都輝ちゃん(12)は、バックダンサーか芸能人になるのが夢。4歳の時から続けているダンスは、「掃除時間に教室で踊っていてよく怒られた」ほど体に染みこんでいる。中学生になってやりたいことを幅広く「もう少しで身長が150センチになるから、雑誌モデルのオーディションに応募したい」と元気な声が返ってきた。12歳の好奇心は止まらない。



## シャツの専門店を

北海道下レスメーカー専門学校2年の赤沼若菜さん(19)はシャツの専門店を営むのが夢。学校では店舗企画のほか、パソコンでポスターやDMのデザインも勉強している。「販売だけでなく、直しやリメイクもできるお店に。でも、裁縫の技術がまだ足りない...」と、レベルアップを目指す。自信を持ち自立した女性が目標だ。

# 今週のメリリーなひと

## PJスタッフから



## 接客キャンペーンスタート、笑顔の鎖どんどん広げよう

※このコーナーでは、イベントの仕掛け人である水谷孝次さんが撮影した写真と、イベントに協力してくれた方のメッセージを毎週紹介します。

Merry in Sapporoプロジェクト推進チームのメンバー、PJスタッフの一人、自からメリリーな笑顔の仕掛け人として、みなさんの笑顔を手伝い、このプロジェクトを存続しようとする。誰かの元を笑顔の笑顔。今週は、笑顔の鎖、4

ら、笑顔の鎖、どんどん広げよう。笑顔の鎖、どんどん広げよう。笑顔の鎖、どんどん広げよう。笑顔の鎖、どんどん広げよう。笑顔の鎖、どんどん広げよう。

## 「Merry in Sapporo」プロジェクトとは

「まちを笑顔で埋め尽くそう！」を合い言葉に、アートディレクターの水谷孝次さんによるイベント「Merry in Sapporo」が、元気のいい札幌や北海道をMerry(幸せ)で包みます。

札幌の人々の笑顔の写真を札幌四番街商店街のいたるところに張り出したり、商店街の店舗がメリリーのバッジを付けて接客したり、みなさんの写真とメッセージを集めたフリーペーパーを発行したりします。

「Merry is あなたの足下から」—5月30日の「ゴミ・ゼロの日」には、全道で5万人が参加したごみ納めイベントでフィナーレを迎えます。詳しくはホームページwww.21merry.netをご覧ください。